



心ひとつ



やさしく
やわらかく
あたたかく

第19号
2017.1



(平成28年度の入職者のみなさん)

目次

- 2-3 ● 糖尿病と透析
● 看護部・技士部の取り組みを全国に発表
- 4-5 ● 介護での取り組み
 - ・「料理教室」への期待
 - ・「布パンツ移行」への取り組み
 ● 地域で安心して長く暮らすためのサポートを行っています
- 6-7 ● 2017年の夢を語る
● 仁誠会ゴルフコンペ「優勝！」
● ボランティア交流会
- 8 ● 予告：「認知症見守り研修会・交流会」の開催

新年
明けまして
おめでとついでいいます

医療法人社団 仁誠会
理事長 田尻哲也



昨年は熊本地震に被災し普段は当たり前前に出来ていたことができずに、多くの利用者さんや患者さんにご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございませんでした。また皆さんの寛大なるご理解とご協力のおかげで、大きな事故もなく無事に復旧作業を終えることができました。本当に感謝しております。

昨年4月に理事長として就任しまして、あっという間の9ヶ月でした。振り返ってみますと反省することばかりで、気がかりな点として現在仁誠会クリニックや介護施設へ訪問することができず、関係上、他のクリニックや介護施設へ訪問することができず、患者さんや利用者さんに直接お会いすることができなかつたことです。西年になったら鶏のように一箇所に留まらずに、常に周りを見渡しなが、皆さん一人一人と楽しい時間を共有したいと考えています。

今年も今まで通り、職員全員で『心ひとつ』の理念の下、皆さんに『笑いと元気と勇気』をたっぷりお届けいたします。

糖尿病と透析



仁誠会クリニック新屋敷
医師 柳 尚子

1998年以降、糖尿病が我が国の新規透析導入の原因疾患第1位で、現在透析を受けておられる患者さんの3人に1人は糖尿病を合併しています。
現在、仁誠会クリニック新屋敷では、ご自宅での食事療法や体重管理が難しい方、内服薬やインスリンの細かな調整が必要な方に対して、糖尿病の教育・血糖コントロール目的の入院を勧めております。

糖尿病とはどのような病気でしょうか？

私達は食事を摂ると、すい臓が分泌するインスリンというホルモンを利用して、糖質を血液から全身に取り込み、生命を維持するエネルギー源として使いますが、すい臓からインスリンが分泌されなくなったり、分泌されてもインスリンの効果が十分に発揮されず、血液中に糖がたまり、増えすぎた糖が全身の血管等を傷つける病気が糖尿病です。

人は誰でも年をとり、年々、すい臓の機能が衰えるので、元々糖尿病がなかった透析患者さんでも、加齢と共に糖尿病を発症する危険が高まります。

糖尿病と聞くと、肥満や食べ過ぎ・運動不足等を原因と連想される方が多いと思いますが、実際には体質(遺伝的な要素)と環境的な要素の両方が重なり合って発症してしまいます。

元々日本人は欧米人比にインスリンを出す能力が低く、体重が少し増えただけでも糖尿病になりやすい傾向があり、糖尿病にかかりやすい体質の方は、過食をしなくとも、現在の欧米型の食生活、夜型のライフスタイルで糖尿病を発症してしまう危険があるのです。

糖尿病の代表的な症状として

まずトイレが近くなり、尿量が増えます。体が脱水状態となるため、のどが渇き、倦怠感が強くなります。さらに高血糖がひどくなると、急激に体重が減ってしまうこともあります。

また、長期的に高血糖の状態が続くと、血液中の過剰な糖分が様々な臓器に影響を及ぼし、代表的な三大合併症である神経障害・網膜症・腎症を引き起こし、このほか、心筋梗塞・脳梗塞・感染症・癌認知症の頻度も増加してしまいます。

特に透析患者さんが糖尿病を合併した場合、適正な血糖コントロールを行わないと、心臓や足の血管の動脈硬化が、より進行しやすいことが分かっており、そのため食事療法を主とした自己管理、薬剤の調整による血糖コントロール、合併症の予防と早期発見がとても重要となります。



まずは、ご相談ください

仁誠会では、日本透析医学会の「血液透析患者の糖尿病治療ガイドライン2012」に準じ、糖尿病患者さんでは透析時の血糖測定と毎月の血液検査を行い、糖尿病のない方でも年に一回必ず血液検査で血糖値の状態を把握するようにしています。その際、糖尿病で血糖コントロールが不良な方、糖尿病予備軍と診断された方には、栄養指導、必要に応じて薬剤の調整を行い、血糖コントロールの改善を図るようになっています。

糖尿病は、適切な時期に適切な治療を受ければ、確実に合併症の進行を予防することが出来ます。

まずは、ご相談ください。仁誠会クリニック新屋敷では、患者さんそれぞれの状況に対応した正しい知識を提供し、少しでも糖尿病をコントロールできるように応援します。

看護部・技士部の取り組みを 全国に発表

今年度は多くの学会や研究会が開催され、仁誠会も日頃の取組を全国へ発信しました。

「日本アクセス研究会学術大会」にて 技士科長教育講演を行う

仁誠会クリニック大津 技士部科長 竹盛賢二



日本アクセス研究会学術大会で、教育講演としてシャントに関してお話をする機会を与えて頂き、演者として参加させていただきました。
演題は「AVFの数値流体力学におけるシミュレーション解析」で、60分間の壇上での話となりました。このテーマは、現場の臨床工学技士からすると、やや専門性が高く学術的にも難しい分野と思われそうですが、聴講された先生方からは「このような研究を応用する事で、新しい知見がわかってくるかもしれない」と評価を頂きました。

医療技術と工学技術が融合する医工連携の分野でもあり、我々臨床工学技士が更にスキルを上げ、VA管理やPTA、シャントオペをはじめ、透析医療全体の支援しなければならぬ部分だと思えます。そして、今後やるべき事が明確化したような気がします。来年度に向け、日本透析医学会学術大会の一般演題への発表及び、同学会へ論文投稿などについていきたいと思えます。また、何より、このような行動が、他の医療スタッフの刺激となり、法人全体の医療技術向上に貢献できることを望みます。

日本アクセス研究会に参加して

仁誠会クリニックながみね 看護部 東家小百合

第20回のテーマ「アクセスの20年を振り返り20年を展望する」に参加して、患者さんのアクセス管理、そしてスタッフのアクセス管理が、今後の20年にどう変化していくのか、クリニックではエコー下穿刺も取組み、技術・考えを共有しています。

仁誠会内でシャントミルキング法の発表に興味があり、研究会で発表を聞くことができました。定期的にPTAを行っている患者がいる中、学んだことをもとに、情報を集め周知、実践したいと考えています。
患者さんにとって、元気でながみねアクセス(シャント)管理を目指していきます。

腎不全看護学会で発表

11月25・26日に大阪で開催された腎不全看護学会にて仁誠会クリニック黒髪馬淵看護師が「熊本地震を経験した直後の透析患者の思い」松岡看護師が「高齢透析患者の家族への支援を考える」家族交流会を行って」を発表。
熊本地震に関連した発表では、多くの注目を集めていました。



九州臨床工学会で発表

仁誠会クリニック大津 技士部 亀澤俊樹

10月2日九州臨床工学会にて「臨床工学技士における援助の人間関係形成を試みた臨床実習例」で発表させていただきました。いままでは実習生に対し、新人指導の延長線で指導してきました。しかし、新人指導と実習生指導を同列に扱うのではなく、実習生を指導するために担当の患者様を付けることでより良い指導ができました。今後も、より良い指導が出来るよう、当院では研鑽していきたいと思えます。

10月1・2日 九州臨床工学会発表	12月11日 九州人工透析研究会
亀澤俊樹 臨床工学技士 (大津)	實田久美 看護師 (黒髪)
水口卓也 臨床工学技士 (黒髪)	本田明日香 看護師 (大津)
池田侑生 臨床工学技士 (ながみね)	淵田ますみ 看護師 (大津)
11月12・13日 全国日本アクセス研究会	眞野史看護師 (新屋敷)
教育講演	佐伯博子 看護師 (ながみね)
竹盛賢二 臨床工学技士 (大津)	荻久保早智子 看護師 (ながみね)
今村真理子 看護師 (光の森)	浦上翔太 臨床検査技師 (黒髪)
11月26・27日 全国腎不全看護学会	永井優聖 臨床工学技士 (新屋敷)
松岡美由紀 看護師 (黒髪)	河添由里子 臨床検査技師 (ながみね)
馬淵理嘉 看護師 (黒髪)	中村美佐 臨床検査技師 (光の森)
	西久保慶 臨床工学技士 (光の森)
	府内梢 管理栄養士 (新屋敷)

介護での取り組み

赤とんぼでは各専門職が、個々のご利用者にチームでアプローチ。自立支援を大切に、ケアの提供を行っています。

「料理教室」への期待

自立支援に向けて作業療法としての取り組み

赤とんぼリハ科 作業療法士 笹川多美

昨年度後半から年間を通して、片マヒや軽度認知障害を有する利用者さん等を対象に、作業療法士主催の料理教室を2か月に一回開催しています。

その目的は「特に片マヒ利用者さんが在宅において自助具や便利グッズを用いて、簡単に調理を行うことができることで自立支援に向けての一助になれば」ということから始まり

ました。料理という作業活動は、手順、献立、方法や器具の取り扱いなど複雑な工程を含んでいます。そしてこれらに対する理解と判断などの認知・知的機能などが(複雑に)関与しています。

また、調理作業実施には常にデュアルタスク(二重課題)という2つのことを並列で行う能力が高く求められます。故この作業を行うことで自立支援と認知機能低下予防も期待できると考えられています。今回は自助具等を利用しながら料理をしている現在の料理教室の様子を紹介するとともに、自助具や便利グッズの紹介、その他作業療法としての現在の活動内容の紹介や報告を行わせて頂きます。

料理内容	
H27年10月:	干し柿
H28年 2月:	細巻き作り
4月:	ひともじのぐるぐる (震災により中止)
6月:	浅漬け作り
8月:	おにぎらず
10月:	団子作り
12月:	なます作り

● 自助具&便利グッズ紹介 ●



ピーラー



ふりふりのり巻き(ダイソー)



釘付きまな板(手作り)
市販のまな板…300円
釘部分…100円均一フォーク使用



先端を裁断し釘部として使用

● 料理教室の様子 ●



きゅうりを釘に固定中!!



ゆつくりながらも順調に作業進行中



昔は、よくこがんで作りよったよ

● 赤とんぼにおける作業療法の実際 ●



102才で書道に挑戦!!



しめ縄作りのわら打ち仕事



しそジュース作り
(調理訓練&回想法)

地域で安心して長く暮らすためのサポートを行っています

それぞれ赤とんぼの専門分野の職員が地域へ外向き、地域の皆さまとの連携を大切に、地域の拠点となる施設を目指しています。

「赤とんぼ出張フィットネス」

1年間の評価結果ができました。

リハビリテーション科では、地域の方の健康増進のために月出1町内・3町内へそれぞれ月2回、公民館等に行き運動指導する「赤とんぼ出張フィットネス」を実施しています。



月出1町内は開講1周年ということで定期的に実施していた体力測定の結果を皆さんにお渡ししました。開始時と比べるとほとんどの項目で改善がみられました。

参加者から「友達が出来て楽しい。体力もつき、身も軽くなった」、この1時間30分が楽しい。足もあがるようになった」というお声も頂きました。

月出3町内でも体力測定を4月に予定しています。参加者のモチベーションアップに繋がればと思います。

外出がおつづくに感じる季節ですが、カラダを動かして寒さに負けない体力をつけましょう!

「健康講話・ボランティア講習会」

4月より第2期がスタートします

赤とんぼでは、「健康講話」・「ボランティア講習会」を各月に1回開催しています。全10回テーマを変えて実施しています。「健康講話」のテーマ「骨粗鬆症」では、28名の多くの方が参加され関心の高さを感じました。骨密度を測定すると、「この数値はいいの?」「前に測ったことはあるけど心配だからまた来ました」などたくさんの方が聞かれました。管理栄養士から「骨粗鬆症を予防するには」というテーマで講話を行い、その後運動指導士から「骨格(コッコツ) 体操」を参加者と一緒に行いました。



「ボランティア講習会」では、「認知症の理解と高齢者への関わり方」・「福祉用具の正しい使い方と介助の仕方」などのテーマがあります。講話を受け、自分の特技を活かす事、自分出来る事から今ボランティアとして参加されている方がおられます。開催を重ねるごとに顔なじみの関係ができ、参加者同士のコミュニケーションも増えているようです。●どちらも4月より第2期がスタートしますので、ご希望の方は3月中にお申込み下さい。

「布パンツ移行」への取り組み

赤とんぼ入所科 介護福祉士 中村賢治



布パンツ移行の取り組みの背景としては、以下の複数の問題や状況がありました。

1 テープパンツやリハビリパンツを使用している利用者さんの中には、皮膚のトラブルを繰り返す方がいた。

2 テープパンツやリハビリパンツ使用者の中には、本当に本人に合っているのかどうか、必要なかという声が職員から上がる方もいた。

3 赤とんぼにおいて、水分・食事・運動・排泄を運動させた「竹内理論」への取り組みも同時期に開始していた。

4 受け入れの介護度増加に伴い、テープパンツ使用者の方や、リハビリパンツ使用者の方が増えており、経費削減を必要とする状況もあった。

一人で行うのではなく、フロア全体で取り組む必要があったため、初めは利用者さんの担当職員への聞き取りが重要でした。布パンツ移行に対しての担当としての方向性を見るための実行アンケートを実施し、それに基づいて進めてもらいました。

それぞれの職員の、利用者個人に対する理解が深まり、布パンツ移行への積極さへと繋がっていったと思います。実際に効果もあり、皮膚改善やADLの向上に繋がった利用者さんもありました。

考えがフロアに根付くことで、在宅復帰の支援施設としての意識が根付く取り組みであるので、今後も続けていきたいです。



秋の仁誠会 ゴルフコンペで優勝!

仁誠会クリニック大津 佐藤欣也

毎年恒例であります仁誠会ゴルフコンペ大会が10月16日に開催され、この大会で優勝することができました。毎年2回、春・秋の大会があり、今回は熊本地震で4月の大会が中止となり、1年ぶりの開催でした。毎年、スタッフの方や先生方、そして同じ患者さんと一緒にラウンドするのが楽しみで参加しています。以前にも優勝した事があり、私にとつて仁誠会ゴルフコンペは相性のいい大会です。頂いた優勝カップは仁誠会クリニック大津のフロントに飾っています。透析も20年過ぎましたが、まだまだ若い心と健康の為に続けて行きたいと思ひます。



どうもありがとうございました。

今年も宜しくお願い致します

ボランティア交流会を開催しました

昨年11月『ボランティア交流会』を開催し、ボランティアの皆様94名のご参加をいただき盛況のうちに終わることができました。今回は、ボランティアの皆様へ「感謝の気持ち」をテーマに開催させて頂きました。じゃんけんゲームや、活動紹介、また2組の皆様は活動披露をしていただきました。職員による歌の披露では皆様から温かく見守っていただき職員も一緒に楽しむことが出来ました。



昨年は震災もあり、大変な時期に皆様に活動へ来ていただいたこと、ボランティアの皆様への力は大きいものだと強く感じました。



本年も赤とんぼ、並びに赤とんぼ黒髪、赤とんぼ長嶺を宜しくお願い致します。

*お問い合わせ 赤とんぼフロント 石原 TEL:096-331-3737

平成29年 仁誠会行事予定

- 1月 ・仁誠会患者新年会
- 4月 ・仁誠会患者会「春の旅行」
・仁誠会春のゴルフコンペ
- 6月 ・第15回赤とんぼ杯ダーツ大会
・仁誠会患者様勉強会
- 7月 ・各施設夏祭り
- 8月
- 9月 ・敬老会
- 10月 ・赤とんぼ秋祭り
・仁誠会秋のゴルフコンペ
- 11月 ・ボランティア交流会

井上 愛子さん

赤とんぼ入所科4階



昨年いろいろな事がありました。が私自身としては特に大きな怪我などする事無く過ごせてよかったと思っています。今年の事はその時ならないと分らないことも有りますがとにかく今年も私や家族みんなが怪我や病気をせずに健康で自分の好きなことができたり、家族と一緒に楽しく過ごしていければ良いと思っています。

前田 マサメさん

赤とんぼ通所



私は96歳。2017年も、元気に赤とんぼに通えることこそ夢であり希望でもあります。

自宅に一人であるよりも、赤とんぼへ来て、大勢の中に居りますと何を話すわけでもないのに元気になります。

目が不自由なものであまり出掛けませんが、先日久々の買い物に出掛け、必要のないものまでたくさん手を出してしまいました。また行ってみたいですね。

小田 陽香さん

赤とんぼ黒髪 フロント



仁誠会に入職して1年目の昨年は、仕事を覚えるのに精一杯で、あつという間に過ぎてしまいました。今年は、1人でできる業務を増やし、利用者さんとも、もっとお話が出来ようになりたいと思ひます。また、新人勉強会でしっかり学び、日々の業務に繋げていきたいです。

後藤 あゆみさん

仁誠会クリニック新屋敷 フロント



新年明けましておめでとうございます。

昨年の4月に入職し、10ヶ月が経ちました。分からない事だらけでご迷惑をお掛けしましたが、患者さんと楽しくお話ができたり、先輩職員の方々に支えていただいたりと、様々な面で成長し、充実した年となりました。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今年は昨年以上に仕事へ打ち込み、周りの方々へ感謝の気持ちを忘れず明るく頑張っていこうと思ひますので、どうぞ宜しくお願い致します。

2017年

西年生まれの患者さん、利用者さん、そして職員



今年の

夢を語る

野口 昌子さん

赤とんぼ入所科3階



(インタビューしました)

透析ばしとるけん、あまり自由とかないけどやっぱり自由が欲しい。家にも帰りたい。

今の目標は杖で歩けるようになりたい。

と、お話しいただきました。(3階 介護士 坂本)

河野 幸子さん

仁誠会クリニック光の森



透析治療を始めて15年になります。今年は年女。あつという間に金婚式です。この年齢になりますと、夢とか希望とか、あまり考えたことはありませんが、孫達が遊びに来てくれることを何より楽しみにしております。

昨年主人も退職したので、小6・中3男の子の孫と、沖縄旅行に行きました。とても楽しかったので、また旅行に行くことが私の夢です。

永田 カズヨさん

仁誠会クリニック大津



私は52歳で透析を始めました。初めは腹膜透析、その後人工透析に変わりました。今まで大きなトラブル等なく過ごす事ができました。これも先生方やスタッフの皆様のおかげです。

昨年3月に腰の手術をしましたが、今は元気になりました。

今度孫達も帰ってくるので、もう少し元気でいたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

林田 梨恵さん

仁誠会クリニック新屋敷 技士部



3回目の年女となりました。一回り下の後輩がいることにショックを受け、おばちゃんに成ったなあ…と、一人しんみりしてしまいました。去年は地震や育休からの仕事復帰、と慌しく過ぎていきました。家の中もごった返しの毎日…今年ももう少し落ち着く年にしたいと思ひます。

なによりも、子供の成長を見逃したくないし、今しか見られない姿をしっかり見つめ、仕事も頑張ります!

柿原 国勝さん

仁誠会クリニックながみね



仁誠会クリニックながみねにて透析治療が約3年になろうかと思ひます。

年男としての抱負としては、透析を始める前は趣味としてへら鮎釣りをやっていましたが、透析を始めてからはやっておりませんので健康に充分注意して又やってみたく思ひます。カラオケも好きですので練習を重ねてうまくなるよう頑張りたいです。

又、家内を連れて温泉旅行にも行きたいと思ひます。

常行 健司さん

仁誠会クリニック新屋敷



「光陰矢の如し」6回目の年男を迎え、後半は疾風の如く過ぎ去った感があります。リタイア後に幾つもの大病を患い、現状は満身創痍で闘病の日々に悲哀を感じる毎日です。

今年も、平穏安寧な明るい年であるよう願うばかりです。小生も未だ煩悩は断ち切りがたく、せめて晩節を汚さぬよう肝に銘じ、信頼される人間となれるよう精進を重ねて参ります。今年も皆様にとつても、実り多き明るい豊かな年でありますよう多幸を祈ります。

西村 敬子さん

仁誠会クリニック黒髪



透析を始めて3年、お陰様で食事でも進みかなり元気になりました。主人と息子を亡くしましたが、娘二人は良い家庭を持ち、友人や周囲の方に恵まれて今本当に幸せです。民生委員や地区の社会福祉協議会の役目を行った経験で、人に迷惑を掛けず今後の人生を送りたいと思ひます。透析を勧められた時はどうしても嫌で、頑固にお断りしていたのですが、踏ん切りをつけ透析を始めて良かったなあと本当に感謝しております。

小室 ますみさん

仁誠会クリニックながみね 看護部



クリニックの行事にはいつもたくさんの方に参加して頂いていますが、今年も更に楽しい企画をいっぱい準備したいと思ひます。患者さん、ご家族との交流の輪を広げて皆さんと一緒に楽しい1年にしたいと思ひます。私自身は趣味のテニスを怪我なく続けて、試合にも出場したいと思ひます。

認知症の方と家族を支えるやさしい街づくり

「認知症見守り研修会・交流会」の開催



認知症になっても住み慣れた地域で安心した生活を続けていく為には医療と介護を含めた関係機関との連携と地域住民のやさしい見守り体制作りが必要と考えています。

赤とんぼでは、地域の中にある老人保健施設として、1人でも多くの地域の方に、認知症の正しい知識と理解を深め、自助、共助、互助の力で、認知症の方にもやさしい街作りを地域の方と共に一緒に考えていけたらと思います。県の認知症サポーター等見守り体制推進事業としてこの研修会交流会を計画いたしました。この機会に認知症になっても安心して住み続けることができるやさしい町、見守りの輪がひろがればと思っています。皆さまのご参加お待ち致します。

*お問い合わせ 赤とんぼ(担当:田尻・荒木・磯崎)Tel:096-331-3737
*定員100名(先着順)につき、電話でのお申込みをお勧めします。

日時 平成29年2月5日(日)
10:00~12:40(9:30開場)

場所 ケアセンター赤とんぼ
熊本市東区戸島西2-3-10 ☎096-331-3737
*熊本県 認知症サポーター見守り体制推進事業

入場無料
定員100名
(先着順)

第1部 【講演】

10:00~11:30 「認知症の方と家族を支える」

くまもと悠心病院 院長 宮内大介先生

11:30~11:50 認知症の介護体験談

第2部 【交流会】

12:00~12:40

オレンジカフェ
赤とんぼ

ささえあい交流会「赤とんぼ オレンジカフェ」

65歳以上の人の5人に1人が認知症になると言われる現在、赤とんぼがあるこの地域にも、認知症のことで不安や困難に直面している人たちが多くおられることでしょう。認知症の人やその家族が孤立することなく、お互いに交流をしたり、情報交換をしたりする場所として赤とんぼでは、「オレンジカフェ」を開催しています。

オープンして足かけ3年目となる今年も地域の「オレンジカフェ」として気軽に立ち寄って頂ける地域交流の場として活用していただけるようにしていきます。是非お立ち寄り下さい。

*お問い合わせ先 ケアセンター赤とんぼ 地域支援部:磯崎

「赤とんぼ オレンジカフェ」は
毎月第3日曜日
午前10時~12時まで
オープンしています。
一度足を運んで
みて下さい。



医療法人社団仁誠会 相談窓口 (透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい)

■仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37
TEL:096-345-6533 FAX:096-346-3388

■仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973
TEL:096-232-9595 FAX:096-232-9888

■仁誠会クリニック新屋敷

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-2
TEL:096-211-5151 FAX:096-211-5057

■仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-2211 FAX:096-360-4841

■仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1
TEL:096-285-3466 FAX:096-285-3488

■介護老人保健施設 ケアセンター赤とんぼ

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-3737 FAX:096-360-7103

■赤とんぼ 居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811 FAX:096-360-7103

■赤とんぼ 訪問介護事業所

TEL:096-331-8879 FAX:096-360-7103

■通所リハビリテーション 赤とんぼ黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37
TEL:096-346-3535 FAX:096-346-3537

■有料老人ホーム 赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3939 FAX:096-346-3538

■有料老人ホーム 赤とんぼ長嶺

〒861-8039 熊本市東区長嶺南6丁目25-97
TEL:096-368-8800 FAX:096-368-1188

■小規模多機能ホーム 赤とんぼ長嶺

TEL:096-368-8885 FAX:096-368-1155

■仁誠会クリニックながみね

訪問リハビリテーション事業所
〒861-8043 熊本市東区戸島西2丁目3番10号
TEL:096-331-2211

●個人情報保護について●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、その他関係者の個人情報に関して、関連法令・他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んでいます。個人情報は、当法人からの医療や介護サービスに関わる情報のご案内以外、他の目的には使用いたしません。

仁誠会窓口メールアドレス
jinseikai-madoguchi@jinseikai.or.jp

仁誠会のホームページが
リニューアルしました!

ホームページ 仁誠会 検索